

# ちわい

2024

彼岸号

VOL.170

浄土宗西山深草派宗務所  
総本山 誓願寺

## ◆ 目次 ◆

- 開宗八百五十年に向けて ⑱
- インド **ド** **タ** **バ** **タ** 夫婦道中記 ⑥4
- フカクサ精進クッキング
- お釈迦さまの十大弟子 ③0
- 誓願寺からのお知らせ
- 総本山誓願寺だより
- 何でも、お寺探偵団

Vol. 68

松濤山千日寺



写真は京都市嵯峨 薬師寺所蔵「船上弥陀三尊像」。阿弥陀佛は波濤の上に鎮座し、観音菩薩・勢至菩薩が船楫を操っている。本尊両脇の文字は、愛知県吉良町 西福寺所蔵『輪圓草』より、浄土宗西山深草派に伝わった悪人正機説の記述。

令和6年4月21日～25日 巖修  
浄土宗西山深草派 総本山 誓願寺

# 開宗八百五十年に向けて

18

布教師会 高橋和幸

## 「亡くなった人と 共に生きる」ということ

私とお念仏との出遭いは幼少の頃でした。私は一般の家庭に生まれました。私が二歳の時に父が交通事故で亡くなり、それから毎月お寺さんが月参りに来て下さいました。そのお参りの最中は、母は悲しいながらも私たちを優しく見守り、そしてその姿を横目に姉、私、妹の子どもたち三人は賑やかに遊んでいた記憶があります。

小さな頃からお念仏とは悲しい時に称えるものだとおぼえておりましたが、ご縁あって私は僧侶となり、お念仏を学んでいくうちに法然上人のあるお歌を知りました。

「露の身は ここかしこにて 消えぬとも心は同じ 花のうてなぞ」

(草葉の露のようにすつと消え行く人の命は儂きものです。しかし互いの身が何時、何

処で、どちらが先に果てようとも、共に極楽浄土の蓮の台で又お会い出来ることを忘れてはなりません。)

死んだらしまいとよく聞きますが、死んでもまた極楽で再会出来るという教えが阿弥陀さまのお力です。そればかりかお念仏は「今の心に仏さま」と書きます。人生を歩んでいく中で悲しい時も苦しい時もあり、また楽しい時も喜びの時もあります。大切な人はどんな時でも私の心において下さり、共に泣き笑い励まして下さっています。

私はお念仏に出遭ったからと言って苦しみや悩みがなくなつたわけではなく、苦しみや悩みが起こつた時、それに立ち向かい、そしてそれを乗り越える手助けを阿弥陀さまやご先祖さま、亡くなった父、そして共に生活している母や姉や妹からいただいています。困難に出遭ったとき私が何をしたらその方々は喜んでくれるだろうかという考え方が出来るようになりました。

お念仏とは阿弥陀さまのおかげで亡く

なつた方や大切な方と繋がる事が出来る有り難い教えです。また法然上人は、「宿業限りありて、おもくうくべきやまいを、かるくうけさせ給う」

(受けるべき運命はもうすでに決まっているが、決まってしまうている困難や災難という本当は重たい運命をお念仏によって軽くして下さる。)

世の中を眺めてみると思う通りにならないことばかりですが、それを受け止めるこの心は変えていきます。この心に仏さまがいて下されば、より一層輝いた人生になり、重く受け止めていた困難や災難を軽く受けさせて下さいます。

父の死をただ悲しい過去に終わらせるのではなく、お浄土で再会したときに胸を張って、人生をしっかりとやってきましたと言えらるようにお念仏をいただきながら生きていく。

この有り難いお念仏に出遭わせていただいたことを当たり前だと軽く思うのではなく、人に生まれたこと、仏教に触れたこと、手を合わせてお念仏を称えること、苦しみを乗り越える術をいただいたこと、今この瞬間も有り難いことであると思わせていただいたお念仏の教えに感謝をし、開宗八百五十年の大きな節目に是非とも一緒に誓願寺でお参りをしましょう。



滞在最後の一日(II)

僕がこれまでまだ一度も行っていない八大仏跡は、残す所はサンカシャとヴァイシヤリーの二ヶ所である。他にも是非とも行きたいのは、ただ一ヶ所遠く離れた所で、南インドのデカン高原のクリシュナー川沿いにあって、「八宗の祖」と言われる大乘仏教の高僧、龍樹菩薩ゆかりの地ナーガルジュナ・コンダである。

インドを離れるのは夜の十一時過ぎだったので、最後の一日は買い物に終始した。

周りの食料品の店を探した。それは青唐辛子のペーストである。野菜サラダやカレーで一番辛いのは、インドでは青唐辛子のようなが、インドで食べるカレーは、あまり辛い物に出くわしたことがない。普通の家庭では一日三食、ほぼカレーであり、子供も一緒に食べるのだから、

それは当然である。かえって日本の方が「一辛、二辛」とか「激辛」と銘打っているから断然辛いのだ。そこで辛さに物足りないと思つた時のために、食卓にあるソースや醤油のように小瓶に入つた青唐辛子のペーストがあればと思ひ、一八〇ミリリットルほどのボトル二本を四〇ルピー（約一〇〇円）で買った。ホテルに戻り、荷物の整理をし身支度を調べエックアウトを済ませ、午後七時に空港までのタクシーを予約し、バッグージをフロントの隅つこの、目立たない所に置かせてもらい再び買い物に出かけた。

間口の狭い店ばかりのメイン・バザールは、それとは気分がずに通り過ぎてしまう店もあり、泊まっていたホテルのすぐ近くに本屋があるのを見つけ、前から必要だと思つていた地図を探した。そこでインド全土（八〇ルピー⇔約二〇〇円）とハリヤーナ州（四〇ルピー⇔約一〇〇円）の地図を買い求めた。

首都デリーを包み込むのがハリヤーナ州だが、デリーは、州と同格の連邦直轄領として独立している。

次は布地屋に寄り、壁に飾つてもいいような柄のベツドカバー三枚を三六〇ルピー（約九〇〇円）、釈尊と、ヒンドウの神ガネーシャを描いた布二枚ずつを五四〇ルピー（約一三五〇円）、パンジャビドレスのズボン（約一五〇円）（約二二五円）、巻きスカート六〇ルピー（約一五〇円）を買い、ホテルに戻つてバッグージに入れた。



インドで買った小物

# フカクサ精進クッキング

精進料理とは、仏教における戒律に基づいて、「殺生（生き物を殺すこと）」を避け、「煩惱（人を苦しめ、煩わせる心）」を刺激しないために生まれた料理のことをいいます。

精進料理では使用を禁止している食材が大きく分けて二つあります。一つは肉・魚・卵等の動物性の食材、もう一つは煩惱を刺激する五葷（五辛ともいう）と呼ばれるニラ・ニンニク・ネギ・ラッキョウ・シヨウガ等の野菜です。

今回のレシピは「けんちん汁」です。この料理は作る季節によって材料を自由に変えられることが特徴の一つです。今回はゴボウやニンジン器具材として選んでいます。例えば夏のけんちん汁であれば、ナスやトウガンやミョウガ等を使うのもよいでしょう。また、水溶性片栗粉を加えて汁に少しとろみを付けるとより体が温まりやすくなります。



## 畔柳紀子 プロフィール

愛知県西尾市第十教区桂岩寺庭婦人。日本女子大学食物学科卒業、管理栄養士。保健センター、子育て支援センター、クリニックなどで食育や栄養指導、福祉センターなどでは身体の不自由な方、高齢の方に向けての料理教室を行う。



### 今日のレシピ

## けんちん汁

### 材料 (5〜6人分)

- ・ゴボウ：¼本 ↓ 5ミリ厚の小口切り
- ・ニンジン：½本 ↓ 7ミリ厚のイチヨウ切り
- ・大根：4センチ厚 ↓ 1センチ厚のイチヨウ切り
- ・干しシイタケ：2枚 ↓ 水で戻し、イチヨウ切り
- ・こんにやく：¼枚 ↓ 塩もみ後、5ミリ厚の色紙切り
- ・里芋：小2個 ↓ 乱切り
- ・木綿豆腐：¼丁 ↓ 一口大の半分くらいに崩す
- ・昆布出汁：4カップ (A)
- ・うすくち醤油：大さじ1.5 (A)
- ・塩：小さじ½ (A)
- ・ごま油：大さじ1
- ・刻み柚子：少々



### 調理方法

- 1 鍋にごま油とゴボウを入れて炒める。
- 2 ニンジン、大根、干しシイタケ、こんにやくを加えて蒸らし炒めをする。
- 3 ②にAを加えた後、里芋も加える。
- 4 里芋が柔らかくなったら木綿豆腐を入れる。※灰汁が出るため、適宜取り除くとよいでしょう。
- 5 椀に盛り、お好みで刻んだ柚子の皮を添えていただく。



お釈迦さまの  
ご生涯  
外伝

お釈迦さまの十大弟子

30

絵・豆田織奈 文・釈尊法話会

密行第一羅睺羅尊者(その7)



「俺はこんなことをしている」、「これだけ修行をした」、「ここまで修行が進んだ」と人に口外する弟子がいました。お釈迦さまは、このような弟子に対し、「修行は自らするものであって、他者と比べるものではない。そんなことを言ってはならない」と注意されたのです。

羅睺羅が「密行第一」と言われたのは、他人に一切口外せずに、人前に出ることなく、密かに修行を行ったからです。お釈迦さまにお叱りを受けて以来、羅睺羅は自らを追い込み、厳しい修行を繰り返していました。その様子を見て他の弟子達が心配をしてお釈迦さまに相談しました。

「世尊よ、羅睺羅は人が変わったように厳しい修行をしております。あの様子では体を壊してしまうのではないのでしょうか？」

「そうか、羅睺羅は精進しておるのだな。わかった。私が羅睺羅と話をしてみよう」

お釈迦さまは羅睺羅の元を訪ねました。

「羅睺羅よ、修行は進んでいるか？」

「世尊よ、一生懸命努力しておりますが、なかなか覚えることができません。どうしたらよいでしょうか？」

「そなたは、どのように座禅をやっているのか？」

「はい、姿勢を正し、雑念が生じないようにひたすら座っております」

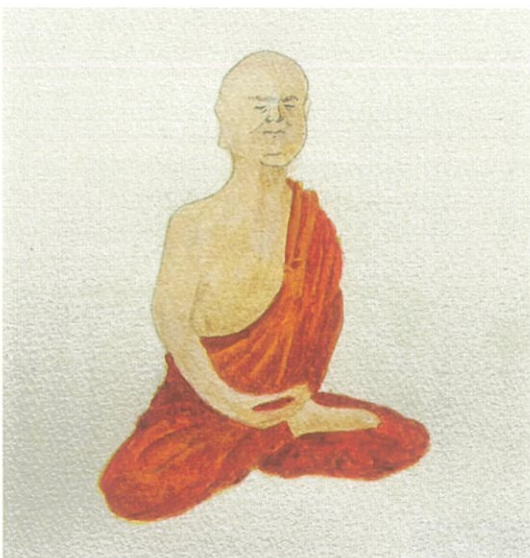
「そうか、では息を出し入れする際に、

数を数えながらゆつくりとやるがよい」

お釈迦さまは羅睺羅に伝えてお帰りになされました。

数を数えながら息を出し入れし、心を静める方法を数息観と言います。羅睺羅はお釈迦さまから教えて頂いた数息観をさっそく行い、効果を上げていき、ついには覚りを開き阿羅漢となりました。

「俺はこれだけやっている」、「ここまで修行が進んだ」なども言わず、人知れず静かな所で一人ひっそりと修行を行ったのです。(つづく)



座禅をする羅睺羅尊者

# 誓願寺からのお知らせ

## 新たな什物

### 『類聚浄土五祖伝』―法然上人作、鎌倉時代の古版本―

このたび、法然上人が著された書物の古い木版本が総本山誓願寺の所蔵となりました。その由来と意義についてお知らせしたいと思います。

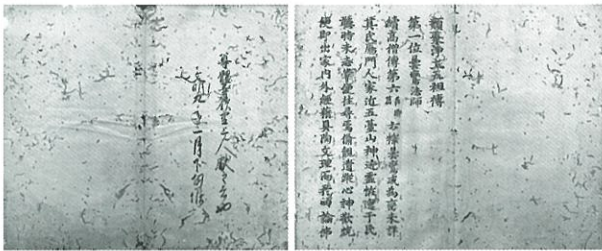
その題名は『類聚浄土五祖伝』といいます。浄土宗の教えの伝来に関わる五人の高僧(徳の高いお坊さま)の伝記を集めて記した書物です。正確な著述・出版の年代はわかりませんが、法然上人がお書きになり、鎌倉時代に出版されたことは確実です。

法然上人は、承安五年(一一七五)善導大師の『観経疏』を読んで感激の涙を流されました。それは、五百年の時を隔てて直接の面識のないお二人の心の出会いでした。この時、『観経』付属の『釈』を根拠として、浄土宗が開かれました。法然上人ご自身の救いにとつては、それで充分でした。

しかし古来、仏教では、「師資相承」ということを大切にしています。器の水を一滴残さず次の器に移すように、師匠から弟子へ教えの伝承が行われます。そうでなければ、仏教は正しく伝えられないのです。浄土宗が開かれたとき、「浄土宗」という教えは、法然上人が勝手に考えたもので古くから伝わったものではない」と、他の宗派から批判を受けました。

そこで法然上人は、中国でも昔からお念仏を伝える方々がいたことを、伝記を集めて証明しようとされました。曇鸞・道綽・善導・懷感・少康、この五人の方々が、お念仏の教えを脈々と伝えてこられたことを説明するために書かれたのが、この『類聚浄土五祖伝』です。

本書は、法然上人の初の著作全集と呼べる『黒谷上人語灯録』に収録されました。そこには次のような意味の奥書が載っています。



「むかし法然上人が、様々な伝記の中から浄土宗の五人のお祖師さまのすばらしい徳を集めて一冊にまとめられました。今これを出版して世の中に広めます。浄土宗の教えの流れに浴して、その源流を知ろうとする人は、これを愛読せずにはいられないでしょう。」

これは、まさしく今回の版本の刊記です。『語灯録』の編纂者である恵道光上人は、この版本をご覧になっていたのです。『語灯録』の完成は文永十二年(一一七五)頃でしたので、本書が出版されたのは、それ以前となります。印刷された本ですから、ある程度数があつたはずですが、これまでは東京の前田家尊経閣文庫に一本が確認されているだけでした。本書が二本目という稀少なものです。

また奥書には「尊體寺欽空上人」という所有者の名前があります。この方は、室町時代に活躍された方で、本宗派の三福寺(京都市)の歴代にも連なっていますので、もともとは浄土宗西山深草派に伝来した書物であることも判明しています。

様々な縁が重なって、浄土宗開宗八百五十年という記念の時に、本書が本山に収蔵されることになりました。今後その内容が広く知られ、法然上人のご遺徳がさらに広まることを念願します。

## 書籍出版

### 『三十一文字のお念仏』

この度、浄土宗開宗八百五十年記念事業の一環として、『三十一文字のお念仏』を当派布教師会より出版致しました。「三十一文字」とは和歌のことを指し、作者は自らの秘められた思いやその時々々に沸き起こった感動の気持ちをも三十一文字という短い言葉の中に閉じ込めて表現します。当派の歴代の諸上人さまたちも、書物では伝えきれない感動の気持ちや仏さまへの思いを、和歌を詠むことによって表現してきました。

今回は、元祖法然上人を始めとする当派諸上人さまたちがお詠みになられた和歌を多数収録し、当派布教師会の方々がその和歌を法話という形で分かりやすく解説して下さいました。現在、誓願寺宗務所にて取り扱っておりますので、お買い求めの方は誓願寺宗務所にお問い合わせ下さい。



# 総本山誓願寺だより

## 春彼岸法要のご案内

総本山誓願寺にて、春彼岸法要をお勤め致しますので、ご参詣下さいますようご案内申し上げます。

合掌

**期 間** 三月十七日(日)～二十三日(土)  
**時 間** 午前十時～午後三時  
**回 向 料** 一霊 三千元

\* 法要はお施主さま一組ずつ、本堂でお勤めします。

\* ご来山の折には「納骨カード」をお持ち下さい。お持ちでない方は「案内封筒」を受付時にご提示頂ければ、再発行致します。

ご不明な点がございましたら誓願寺(〇七五二二二一〇九五八)までお問い合わせ下さいませよう。お願い申し上げます。



## おもな行事予定

- 三月
  - 十四日(木) 善導忌・六阿彌陀功德日
  - 十七日(日)～二十三日(土) 春彼岸法要
- 四月
  - 十五日(月) 六阿彌陀功德日
  - 二十日(日)～二十五日(木) 元祖法然上人開宗八百五十年慶讃大法要
- 五月
  - 十八日(土) 六阿彌陀功德日
- 六月
  - 八日(土) 和泉式部忌
  - 十九日(水) 六阿彌陀功德日
- 七月
  - 十四日(日) 六阿彌陀功德日
- 八月
  - 十五日(木) 六阿彌陀功德日
  - 十六日(金) 精霊送り・盆施餓鬼



## クイズコーナー

### 【問題】

六頁より、この度、当配布教師会から出版された本のタイトルは何ですか？  
ひらがな六文字で答え下さい。

〇〇〇〇〇〇〇のお念仏

ハガキに、【答え、郵便番号、住所、氏名、電話番号、菩提寺(だんな寺)、感想】をご記入の上、ご応募下さい。なお、ご提供頂いた個人情報につきましては、プレゼントの発送のみに利用致します。今回は、千日寺さまより、両面ガーゼ手拭い2本組を10名さま、本山謹製線香を5名さまに抽選して差し上げます。ご応募お待ちしております。

### 【宛先】〒四四三-〇一〇五

愛知県蒲郡市西浦町北馬相十一番地  
覚性院内 ちかい編集係

答え 〇〇〇〇〇〇〇〇  
郵便番号  
住所  
氏名  
電話番号  
菩提寺(だんな寺)  
感想

【締切】五月三十一日  
(消印有効)

## ちかい 第170号

発行日 令和六年二月五日  
発行所 浄土宗西山深草派 総本山誓願寺  
京都市中京区新京極桜之町四五三番地  
電話 (〇七五) 二二二一〇九五八  
FAX (〇七五) 二二二二〇一九  
E-mail info@fukakusa.or.jp  
URL https://www.fukakusa.or.jp/

何でも  
**お寺探偵団**  
せん にち じ  
千日寺  
Vol.68



今回は、愛知県蒲郡市にある「松濤山 千日寺」を訪ねました。

**神田慶龍師(千日寺 第3世)**

昭和46年8月17日生 52歳  
愛知県蒲郡市出身。昭和59年、永向寺道場にて得度。平成10年、愛知教育大学大学院教育学研究科 歴史学専修(修士課程)修了。平成20年、総本山誓願寺にて、法脈相承を受ける。平成22年、千日寺住職を拝命。

私はご住職と本山での修行以来、親しくお付き合いさせて頂いています。ご住職は博学であり、新川町史をはじめ多数の自治体史編纂事業に御尽力されています。そのため、お会いする度、いつも多くのことを学ばせて頂いています。また、近年では蒲郡市の文化財審議委員として、共に文化財保護の活動にも取り組ませて頂いています。



**Q1** お寺の歴史を教えてください。

元々は明暦年間(1655~1658)に、永向寺第3世、応保教存大徳により、お堂として開基されました。昭和17年(1942)3月31日に、門空静観師により「千日寺」となりました。その後、現住職により平成26年5月に本堂、令和5年4月に聖徳太子1400年御遠忌記念事業として太子堂が再建され現在に至ります。

**Q2** お寺にはどんな仏さまが祀られていますか？

本堂には、本尊阿彌陀如来立像、善導大師座像・法然上人座像などがお祀りされています。そして、太子堂には、聖徳太子立像(孝養像)、不動明王座像、地藏菩薩立像、弘法大師座像がお祀り

**Q3** 住職としての心がけを教えてください。

されています。特に、聖徳太子は大工の神さまと伝わっているのので、当山の聖徳太子像も地域の大工職人から篤く信仰されてきました。

法然上人のお歌に、「池の水の心に 似たりけり 濁り澄むこと 定めなければ」という歌があります。これは、人の心は池の水のように、澄んだり、濁ったりを繰り返しているという意味です。私は皆さまに、心穏やかに日々をお過ごし頂きたいと思っています。お寺にお越しになられた方に、「千日寺に来ると心が落ち着く、何となく安らげる」と思っ

**Q4** 「ちわい」の読者に何か頂けませんか？

両面ガーゼ手拭い2本組(般若心経・絵心経柄)を10名さまに差し上げます。

**【交通】**  
JR東海道線・名鉄蒲郡線  
「蒲郡駅」から徒歩20分  
**【主な行事】**  
盆施餓鬼会 8月3日  
**【お問い合わせ】**  
千日寺  
〒443-0053  
愛知県蒲郡市堀込町88  
TEL 0533-69-0453



▲聖徳太子立像



▲本堂内観



▲本堂外観



▲太子堂内観



▲太子堂外観